

2025年4月4日

子どもたちにより良い教育環境をつくるために、一旦、
本町田地区の学校統合を止め、統廃合計画の見直しを求める請願

町田市教育委員会教育長 様



住 所

連絡先

氏 名

(請願の要旨)

子どもたちにより良い教育環境をつくるために、一旦、本町田地区の PFI 契約を解約し、学校統合を止め、子どもと保護者、地域住民の声を反映させ、統廃合計画を見直すことを求めます。その参考として、より良い教育環境が小学校の大規模化によって実現できることを裏付ける学術的な根拠を明らかにすることを要望します。

(請願の理由)

はじめに

町田市教育委員会は 2021 年 5 月に「町田市新たな学校づくり推進計画」(資料1 推進計画と略記)を策定し、2025 年 4 月に本町田東小学校(本町田東小と略記)と本町田小学校(本町田小と略記)の学校統合を行ない、本町田ひなた小学校(本町田ひなた小と略記)を開校しました。

一方、町田市は 2024 年 5 月に「町田市子どもにやさしいまち条例」(資料2 コドマチ条例と略記)を施行し、その第1条は「子どもにとっての最善の利益が優先して考慮され、・・・子どもにやさしいまちを実現することを目的と」すると記しています。また、文部科学省は 2015 年に改訂した「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引」(資料3)の p.18 に「学校統合の適否を検討する上では、学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、・・・十分な理解や協力を得ながら進めていくことが大切になってきます」と記載しています。

アンケートとその結果

私たちは昨年(2024)年の 8 月から 9 月の間に町田第三小学校(町三小と略記)、本町田東小、本町田小の子どもと保護者を対象にアンケート調査を行ないました。このアンケートでは、「今、通っている学校に、このまま通うのがよい」と「学校統合を楽しみにしている」のどちらかを選択し、不安なことがあれば、記入してもらいました。

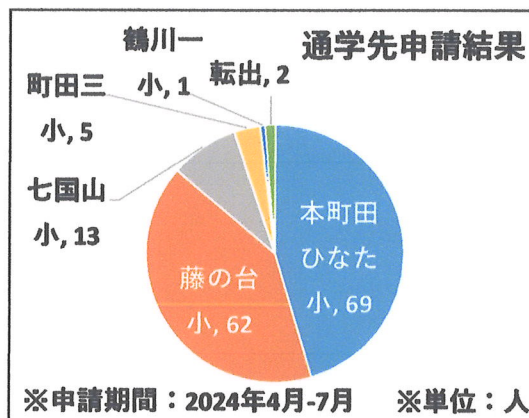
3 校の子どもの合計 1046 人に対し、768 人に配布し、子ども 96 人、保護者 91 人から回答が得られました。「今、通っている学校に、このまま通うのがよい」を回答した割合は、子どもが 88.5%、保護者が 89.0%と圧倒的多数でした。また、子どもから 28 件、保護者から 46 件の声が寄せられました。この寄せられたすべての声を請願の理由の末尾に掲載しましたので是非お読みください。この結果から、多くの子どもたちと保護者が学校

統合に対して不安を抱えていることが分かりました。

子どもたちは「学校が遠くなること」で「毎日疲れ果ててしまいそう」であることや、「ともだちがかわること」「先生が変わること」に不安を感じています。また、保護者は「沢山の信号を渡って行かねばならず交通事故が心配」であり、「遠距離を女の子が通うのは変質者に遭遇する可能性も高まる」ことを記しています。教育委員会は安全対策を実施していますが、保護者が求めるのは 100%の安全性です。一回でも事故が発生し、自分の子どもが犠牲になることがあってはならないと考えます。

本町田東小学校 保護者の通学先申請結果

2024 年 11 月 5 日に開催された「第 9 回 本町田ひなた小学校新たな学校づくり基本計画推進協議会」において「学区外通学制度の申請結果」（資料 4）について報告がありました。右の円グラフに示す通り、本町田東小の児童の保護者の半分以上の 54%、81 人が統合校である本町田ひなた小以外の通学を申請しました。これまで本町田東小の子どもたちは、本町田小の子どもたちと一緒に合同での遠足などの様々な交流を行なってきましたが、多くの子どもたちが統合準備を行っていない近隣の小学校に転校します。



これは、アンケートに寄せられた「学校が遠くなること」への不安をどうやって解消するか、さらに「友達と離れたくない」、「弟や妹と一緒に通いたい」という子どもの願いをどうやって叶えるかについて、各家庭で話し合っただけで出された結論だと思います。一方的に押し付けられた学校統廃合計画に、多くの子どもと保護者が振り回され、大変な迷惑を被っていることが分かります。2028 年に本町田東小跡地の新校舎が完成し、町三小が統合される際にも、同じ問題が発生することは明らかです。

もし、本町田地区の統合計画を決める際に、子どもや保護者の声を汲み上げ、不安を解消する話合いが充分に行なわれ、多くの子どもや保護者が納得できる計画が決まっていれば、このような結果にならなかったと考えます。従って、この申請結果は本町田地区の学校統合計画の失敗を表していると考えます。

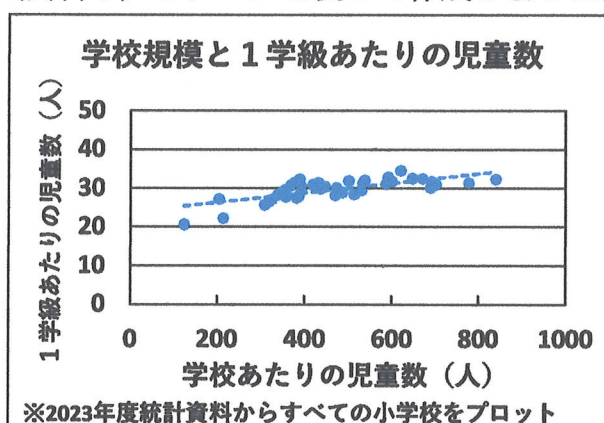
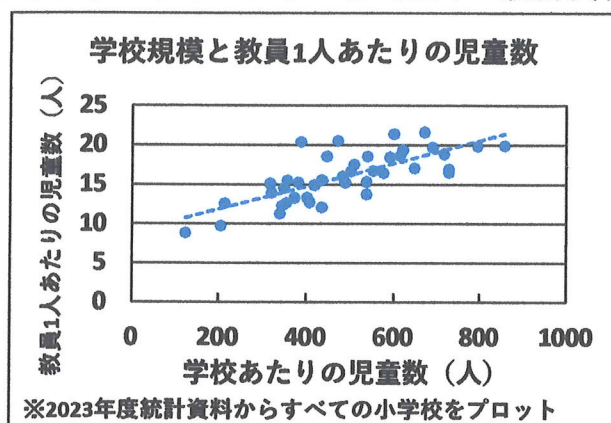
子どもにとってより良い教育環境を実現するために

2020 年 1 月に出された町田市立学校適正規模・適正配置等審議会の答申（資料 5）の p.17～p.19 に、「町田の未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるために」は、「協働的探究学習」や「主体的で対話的な深い学び」が大切であり、「多様な人々の多様な価値観の意見を聞いて自分の考えに活かす機会」や「集団で・・・切磋琢磨できる環境」が大切であると記されています。そのために小学校の学校統合を行い、大規模化を進めようとしています。しかし、より良い子どもたちの教育環境が小学校の大規模化によって実現できることを裏付ける論文や本などの参考文献が示されていません。是非、学術的な根拠を明

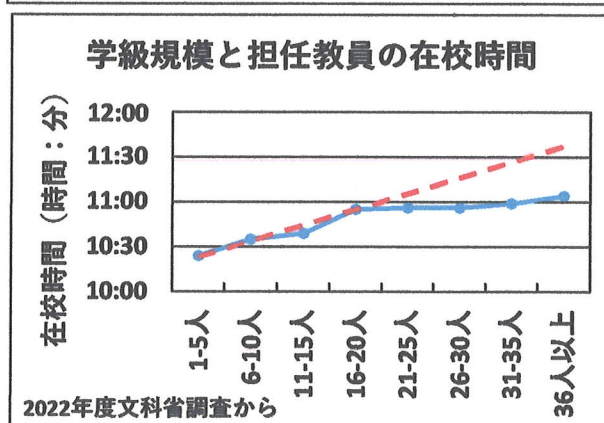
らかにすることを要望します。

一方、私たちは、「子どもたちが多様な考えに触れる機会、学び合いの機会、切磋琢磨する機会」が、教員と子ども、子ども同士の間の信頼関係があって初めて教育に活かせると考えます。その信頼関係は、教員と子どもとの十分な対話によって築かれます。そのための環境として、教員1人あたりの子どもの数が少なく、教員の業務上の負担が少ないことが求められます。

下の左側のグラフは学校規模と校長を含む教員1人あたりの児童数の関係で、学校規模が小さいほど、教員1人あたりの児童数が少なくなり、子どもや保護者と丁寧な対話ができる可能性が増えることが分かります。また、下の右のグラフは学校規模と1学級あたりの児童数の関係ですが、これも学校規模が小さいほど、1学級あたりの児童数が少なくなります。これらのグラフは町田市の統計資料（資料6）のデータを使って作成しました。



また、右のグラフは2024年4月に発表された文部科学省の2022年度「教員勤務実態調査」（資料7）のp.25に記載されている学級規模と担任教員の在校時間の関係の棒グラフを折れ線グラフにしたものです。20人以下学級において子どもの人数が少なくなるほど担任教員の在校時間が減っていることから、教員の仕事量が学級の子どもの数と強く相関していることが分かります。



以上から、子どもとの対話の条件を広げ、教員の負担を減らして、教員と子どもの信頼関係を築くためには小さい学校規模を維持することが大切であることが分かります。さらに、教員1人あたりの子どもの数が減ることは、教員の目が行き届くようになり、いじめを減らすことにつながり、教員と子どもや子ども同士の信頼関係の構築は子どもが安心して学校に通えるようになり、不登校の減少につながると考えます。

ある小学校では、子どもたちが安心して学校に通うために、学年毎に担当教員が学年のすべての子どもたちの状況を把握し、その中で問題を抱えた子どもについては、学校内のすべての教員が名前を覚えて声かけし、子どもが困ったときには学校の最高責任者である

校長の部屋にいつでも逃げ込めるようにしています。そのためには、校長がすべての子どもを把握できる小規模校であることが不可欠です。

子どもや保護者、地域住民の声を反映させて統廃合計画の見直しを

町田の未来の子どもたちにより良い教育環境をつくるために、一旦、本町田地区の PFI 契約を解約して新校舎建設を中止し、さらに町三小との学校統合を止めて、子どもと保護者、地域住民の声を反映させ、統廃合計画を見直すことを求めます。その参考として、より良い教育環境が小学校の大規模化によって実現できることを裏付ける学術的な根拠を明らかにすることを要望します。

アンケートに寄せられた声

①子どもから

- ・ 距離が遠くなること。
- ・ 学校が遠くなる。
- ・ 学校が遠くなるため、不安。
- ・ 遠すぎる。
- ・ 距離が長すぎる。
- ・ 遠くなるので、遅刻しそうな気がする。
- ・ とおいところにはかよいたくない。
- ・ 通学距離が遠く、歩いて通えるか不安。
- ・ 学校がとおくてつかれる。
- ・ 通学が遠くなること。天気が悪い日が心配。
- ・ ともだちがかわること。学校の中がどうかわるかわからない。
- ・ 今のままお友達と同じ学校がいい。
- ・ 友達と離れたくない。
- ・ 変な子やふざけてる子がいなか心配している。
- ・ 仲良くなれるか不安。
- ・ ともだちができるか。
- ・ 新しい友達と馴染めるか、新しい友達と会うのが恥ずかしくて緊張する。

- ・下の妹と一緒に町三小へ通えなくなります。
- ・弟と一緒に通いたい。
- ・妹と一緒に学校がいい。本小なくならないでほしい。
- ・先生が変わること。
- ・本町田小をなくさないで。
- ・きぼうの森のような、遊べる場所がなくなるのがさみしい。
- ・校歌と校章が変わるのがかなしい。人数が増えるのが心配。本小がなくなっても、子どもたちがきぼうの森がずっと使えるようにしてほしい。
- ・(子どもは現在 6 年生なので、もしも自分が該当だったらと想像して答えてもらいました。該当学年の児童は、入る時から覚悟して聞かされていると思うので、感じ方は違うかもしれませんが) まず、想像出来ないし、気が重い。でも決まってしまっているなら、従うしかない。遠くなるので、登下校だけで、毎日疲れ果ててしまいそう。他の小学校の方が近くなるので、出来たらそちらが良い。でも、友達と別れるのは辛いので、とても悩む。もしも登下校中、下級生に何かあっても、助けられる自信はない(とにかく登下校が大変だから、自分のことだけで精一杯になりそうだから) 新しく一緒になる子ども達とは、いきなり同じ教室させられるだけでは、仲良くなれるのか不安。レク等、親しくなる配慮をしてほしい。親としては、通学にバスを使うのは当然の前提としてとらえたい。遅延などトラブル時の対応が気になる。一人あたりの教師の人数が減ることや、校庭の広さが狭くなることは、初めて知りました。ショックです。学童についても、違反しているなら厚労省から市へ指導をもらう等すべき。避難所については、避難所難民を出さないよう、切れ目のない対応が行政からされることが当然かと思いました。
- ・不安はない。

②保護者から

- ・登下校にかかる時間が増えること。今の距離に慣れている状態からの変化なので、適応

が大変そう。登下校の時間が増える→様々な危険も増える。スクールバスがあるならまだしも。特に初期は登下校の付き添いが必要になる可能性が高く、統合該当校区の保護者のみ新たな負担が発生する。

- ・通学距離が伸びることから、危険性が増す。バス通学など他の通学方法があったとしても、余計な出費は避けられない。最後の1年で友人関係の再構築は、大人も子どもも難しい。

- ・統合すると小学校までの距離がとても遠くなる。統合により、友達と違う小学校に離れることが不安。低学年だと徒歩での通学には1時間程かかり、悪天候や猛暑日だと危険だと思います。行事の際など、保護者が自家用車以外の手段で学校に行くことが困難。卒業式などどうやって行けばいいのか悩むところです。統合に不安しかありません。

- ・登下校にかかる時間がとても長くなります。今15分程ですが7月は毎日のように汗だくで帰って来ます。統廃合後は40分～50分程かかると思います。スクールバス制度や校内の駐車場設置など親の車での送迎が出来ない限り子供の熱中症、防犯面でもとても不安です。

- ・統合になると大人でも30分以上かかるのが朝大変です。また遠くなることで、暑い日の熱中症や交通の便でも子どもだけで行かせることに不安が大きいです。

- ・あまりにも遠すぎる。冬は暗くなるのが早いので、危ない。

- ・通学路が新しい統合校になると遠く今までの学校よりかなり距離がある。登下校の心配もありますし、学童に通う予定ですので帰りが心配です。

- ・学校が遠くなる・人数が多すぎる。

- ・通学の距離が延びる生徒がいること。特に低学年の児童。もし統合するなら見守りを強化した方がいい。集団登校させるとして、帰り道もバラバラで帰らせずにグループで下校させるといいと思う。通学路の歩道や信号がきちんと整備されてないと怖い。統合するにあたって、児童の通学問題が蔑ろになっていると思う。

・通学路の整備について。統廃合により、こどもが長距離を通うことになるのはかなり心配。町田は歩道が確保されてない通学路が多い。学校整備だけでなく、通学路整備もしてください。

・通学の道のりが遠くなることで事故や犯罪に巻き込まれることが心配。また代わりになる交通手段も整備されることがなく不安が解消されない。

・統合先が遠くなるため転校を考えざるを得ない。

・通学が非常に遠くなるため、現在未就学児の兄弟のことを考えると不安でしかありません。

・真夏炎天下の中日陰もない歩道を歩かせるのは危険と考える。(今時の夏と親世代が小学生の時の夏の暑さとは比べものにならない)

子供の数が増えるというのは先生の目が届きにくいと思う。

いじめなども心配。

支援級に通っている子どもたちは環境の変化など慣れるのに大変そう。

ゆくゆくは統合なども考えてもいいと思うが入学した小学校で卒業させてほしい。

・学校が遠くなるので、通学が大変。

・新しい学校に馴染めるか、登校時間がかかること。

・徒歩7〜8分で4年通った後の統廃合で徒歩40分以上かけて登校しなくてはならない事への不安。入学してから3度もクラスメイトが増えたり環境が変わることでの子供たちのストレス。

・入学したての子をバス通学にさせるのは不安でいっぱいです。

・スクールバスでない限り、バス通に反対。徒歩圏内の学校にしてほしい。自分の子供の場合に置き換えて、親と子供の気持ちを考えてほしい。

・通学時間が長くなるのと同時に、バスの経路から外れているため遠くても徒歩で通学しなければならない。1年生の小さな体で30分以上歩くことで誘拐や事故の危険性が高まる

のが不安。スクールバスの導入など不安が解消されないのであれば今のままの学校に通わせたい。

- ・新しい学校まで 1.5 キロ以上あります。炎天下の中を歩かせたくありません。危険です。公共のバスは痴漢にあう子もいると聞いています。勝手に新しい学校を作るのなら人の子供に責任を持ってください、スクールバスの送迎は必須です。

- ・兄は新校舎移転前に卒業しますが、弟はかなり遠い新校舎に通う事になります。弟は最初から近隣の学校に行かせるか、移転のタイミングで転校させるか、遠くても通わせるか、悩んでいます。ぜひスクールバスの活用を再検討していただきたいです。

- ・新しい学校まで距離が遠すぎる。

 - 東小が新校舎になった場合

 - 我が家は徒歩になるが歩くと 40 分くらいかかる

- ・市バスを使う方法は利点が無いのに、なぜ承認されているのか不明

- ・市バスを使ったとしても 1 時間前には自宅を出発する事になる

- ・自宅からバス停までの距離、バス停から学校までも距離があり、徒歩で行った方が早い場合あり

- ・社会を学べるという利点があるようだが、通学バスを出さない方法を大人が勝手に理由づけているようにしか思えない

- ・現状を改めないのであれば、新校舎への通学は保護者が送迎せざるを得ないと思う
低学年は特に

- 通学バスを出す(本小⇄東小間や、市バスでは網羅できないルート)

- 送迎用の駐車場を作る

など、通学の方法を考え直すべき。

よろしくお願いします。

- ・統合によって低学年が通うには遠すぎる距離が不安です。周りの保護者も同じような声

ばかり聞こえてきます。バス登校にする訳でもなく、登校班がある訳でもないですよね？

私の育った地域には登校班があったので、上級生が連れて行ってくれました。親としても安心だったかと思います。

せめて、そういった子供たちに安全な登校ができるよう今からでも考えてほしいです。

その議論が無いまま子供の負担を置き去りにしてまで統合する目的が私には理解できません。大人の都合は子供には関係ないのです。

・本町田東小の場所がハザードマップの警戒地域になっている。現在も学校が避難施設に指定されてないにも関わらず、その場所に新校舎を建てる意味が分からない。また、2km/30 分以内が適切との教育委員会の見解ですが、アンケートの見解の通り危険を伴うと思います。スクールバスでの通学を実施して欲しい。

・卒業してもいつでも通っていた小学校に行けるという事が大切な事だと思う。思い出がそこにあって、いつまでも大切にしたい。

・特別教室が十分足りるのか。立派な音楽室や図工室などあっても、生徒数が多ければ使用できる回数も限られる。校庭や体育館も十分に使えるのか不安。天候が悪い時、猛暑、大雨、大雪などの登校が、距離が長くなるのでとても不安。卒業学年からの統合で、友達関係が不安。大人数です、友達とのトラブルがあっても目が行き届かないのではないかと不安。

・折角 5 年生までに築いて来た友達関係を、6 年生の最後の 1 年間は他校の学区に（一部のエリアの少人数だけが）統合される事によって、不安で肩身の狭い思いで過ごさねばならない。その小学校はヤンチャなお子さんが多く、トラブルが絶えないと同学年（現在 2 年生）のその小学校に通う親御さんから聞いており非常に不安である。また、家から遠くなる為、沢山の信号を渡って行かねばならず交通事故が心配であり、また、遠距離を女の子が通うのは変質者に遭遇する可能性も高まる為、非常に心配している。町田市は統合に力を入れるより、国立や都立の中高一貫校（南多摩中等のような）でレベルの高い学校を

誘致するような政策で、魅力ある、子供がますます集まる、人気のある街づくりを行って欲しい。

- ・どちらかと言えば、繊細な時期だとも思うので、環境が変わらずに同じところで過ごすのがいいと思う一方で、2 クラスましては今後 1 クラス等に減ってしまうのを思えば、統廃合はやむ負えないと思う。

- ・全て不安に感じてしまう。皆んな穏やかで優しい学年なので、このまま卒業させてあげたいと感じている。

- ・町三小の良い点（アットホームな所、先生の目が行き届いている所）が失われないか。

- ・統廃合によって来年度入学の下の子は、4 年生から町三小⇒町四小に通う事になってしまうが、通学距離や友達関係も気になる。

- ・子どもが卒業ともに閉校になりますが、統合してしまって、通学距離が遠く、1 クラスの人数が多くなり、先生 1 人では行き届かない人数では良くないことが懸念です。

- ・娘が 5 年生になる時に、学区域変更という形で他の小学校へ行く地域なので、地域的に他の小学校に行く子も少ないと思うので、転校生という感じになるのかなと。女子 5 年生という年齢は微妙な年齢だと思うので、不安です。また、新しい本町田ひなた小学校を選んだとしても今度は中学校に入学時にほとんど知らない子の中に入るのかなと思うとこれもまた不安です。

- ・小学校の卒業後が分からず不安です。

- ・登下校、予算的に、すべて不安、不満。

- ・統合するメリットが見当たらない。行政上の都合でしかないと感じざるを得ない。

市役所の学務課や教育センターと関わっているが、子供第一の目線に立ってもらった試しは一度もなく、「お役所仕事」をいつも感じている。

- ・同級生が増えるのは嬉しいですが、クラス数を増やして授業など先生の指導が行き届くように配慮してほしいです。

・環境が大きく変わること。子供達の情緒面が心配。生徒数が増える事により、先生が目が行き届かなくなること。

工事費が大幅に高騰していること。

・グレーゾーンや、こだわり、繊細な子が増えている今、通常のクラスでも学習が難しい子が増えていて先生も部屋も少なく情緒級が増やせない状況で、なぜ壁のないような子供が密集していくような統合にするのか。子供は統合後の想像ができていないので不安や心配はなさそうだが、今環境の変化がそんなにうまくいっていないのに心配。

・今でもちゃんと子供達を見ていられてないのに統合で生徒の人数が増えてしまったらより一層見てもらえないのでいじめやら意地悪やらの判断が今以上に見てもらえなくて怖いし先生基準になるのが不安。

・・うちは卒業まで本小に通えるので、今のところ困ることはないですが、学校を移動になるご家庭は大変かと思います。

・本小のきぼうの森を子どもたちが利用できる環境を残してほしい。

・ただ、学校の老朽化による建て替えはいつかはやらなければいけない問題ではあるので、統合や新たな場所に建て替えなどは進めるしかないのかなと感じています。

・きょうだいで同じ学校に通わせることが出来ないのが不満。

・子供のことで考えて学校から近い家を購入したのに、統合になり、子供が今の何倍も1人で登下校することになる。家の購入時は小学校が近いとの話で購入してる。そういう話があるならば事前に不動産側にも共有すべきだし、家を買直すためのお金を保証してくれるのか？引越しの金額なども。なぜ環境が悪化するのに子供のための対応が出来ないのか。何に優先順位を置いているのかを知りたい。

・家を購入後に統廃合が発表されたので非常に困っている。統廃合後は学校まで2キロもあり困る。先日静岡県で猛暑の中バスに乗れずに歩いた件があり、路線バスでの通学は非常に不安。バス代も全額出ないことに納得がいかない。子どもに時間的負担、経済的負担、

の両方を負わせることに納得がいかない。統廃合によるメリットが感じられない。統廃合後の学童が最低でも現状と同等の運営される保証が無い。昨年説明会があったようだが、その後開催されていない。定期的に説明会を開催してこれから通う家庭と対話をしてほしい。そもそも未就学の家庭に説明やアンケートもなく、一方的に発表され非常に不愉快。これから通う人達にこそ説明や対話が必要ではないのか？

・特になし。